

《症例報告》

## エタノール固定術後の副甲状腺機能亢進症の診断に $^{99m}\text{Tc}$ -MIBI シンチグラフィが有用であった 1 例

太 田 仁 八\*

\* 大阪赤十字病院放射線科

要旨 原発性副甲状腺機能亢進症の 67 歳の男性で、副甲状腺腫切除術を拒否したためにエタノール固定術 (PEIT) を施行したが、効果は不十分であった。 $^{99m}\text{Tc}$ -MIBI シンチグラフィを行ったところ、異常集積が認められた。

$^{99m}\text{Tc}$ -MIBI シンチグラフィは、PEIT の効果が不十分な場合の副甲状腺機能亢進症の評価にも有用である。

(核医学 37: 671-674, 2000)